中学生防災通信ボランティア令和6年度第3回訓練

日時 令和7年3月2日(日) 午後2時00分~ 場所 幡豆いきいきセンター つつじホール

- 1 挨 拶
- 2 防災講話 「三河地震体験談」 講師 西尾市西幡豆町在住 鈴木一夫様
- 3 通信訓練(トランシーバー操作実習) 次の4項目の状況を避難所から本部へ報告する
 - ・津波による被害
 - ・土砂くずれ被害
 - ・緊急輸送道路(国道247号)の被害
 - ・ 救助活動拠点の状況

班別

- ①東幡豆本部:つつじホール
 ③西幡豆本部:ボランティアルーム
- ⑤鳥羽本部: 2 Fロビー東
- ①東幡豆本部:つつじホール ②東幡豆避難所:1F東側相談室隣
 - ④ 西幡 豆避難所:正面玄関西のカウンター
 - ⑥鳥羽避難所:3Fエレベータ前

- 4 記念集合写真
- 5 3年生メンバーのユニフォーム返納

卒業生 11名の内 4名出席

- 6 その他
 - 新年度のこと(継続でお願いします)例年 6月、12月、3月の3回訓練
 - · OB、OGのこと

町の防災活動に積極的に参加して欲しい 幡豆の防災ボランティア団体「防災ネットワークはず」 中学生訓練で見学や指導をお願いしたい 日程はホームページを見てください アドレス http://hazu8zu.dip.jp/stv/

これは三河地震を、実際に体験した人が

話す内容のまとめです。

参考資料 (受講生に集中して聴いて もらいたいので配布ない)

西幡豆町 在住 鈴木一夫 1935年5月生まれ

空襲と地震

1945.3.10 東京大空襲 死者 10万人

1944.12.7 東南海地震 学徒党員の中学生1200人 知多の軍需 工場の下敷きになり死亡。

空襲も、地震も、報道管制のため、ほとんど知らされなかった。

1945.1.13 3時38分 三河地震発生

マグニチュード 6.9 震度7 震源 地点 三河湾形原町沖合 内陸直下型地震 活断層地震 深溝断層 死者 2306人 全半壊 23.000棟

数日前から、かなり大きな前震が あった。 艦砲射撃の音と思っていた。

熟睡中の大きな揺れ 一瞬何が 起きているのかわからない。

空襲と思って、防空壕へ逃げ込もうと、寝間着のまま外へ出た。

住んでいた家が左右にゆさゆさと 大きく揺れていた。

地面も、不気味な音とともに 揺れていた。立っていられなかった。

どこからも、誰も助けに来てくれなかった。知らせることを禁止された。

大地震が来たらどうするか

どうすることもできない。その時助かるかどうかは、運が良いかどうかだけ。 Jアラート シェイクアウト姿勢

※ 参考資料 名古屋大学 地震火山 防災研究センター 「三河地震60年目の真実」

① 津波による被害

訓練内容

① 通信	
避難所	「本部、本部こちらは()避難所の()です。
	感度いかがですか? どうぞ」
本 部	「() さん、こちらは () です。
	 (感度の状況を伝える) どうぞ」
感度	その状況 ・感度良好です
	・少し雑音が入りますが、わかります。
	・雑音が多くて聞きづらいです。
	・ほとんど、了解できません。もう一度お願いします。
避難所	「() さん、それでは () 避難所から、本部へ
	3月2日、13時現在の 津波被害の報告 がありますので、送っていいですか?
	どうぞ」
本 部	「送ってください。どうぞ」
避難所	「訓練、こちらは、() 避難所の () です。 津波による家屋倒壊及び瓦礫の散乱の場所は、 地図上の (、、、、、、、
	・地区ごとの被災箇所の図面から縦横の記号を伝達 例A-1、B-2・・・
本 部	「了解しました。復唱します。
	訓練 家屋倒壊及び瓦礫の散乱場所は、
	地図上の(、、、、、、、、
	、、、、、、、、) これでいいですか?どうぞ」
避難所	「間違いありません。こちらは()避難所でした。おわり」
	「() さん、了解しました。終わり」
⊚ ≠≕	- 地図から 今 体図への転割
	地図から全体図への転記
作争	担当は、各地区の受信情報を全体図に記入する

③ 状況のまとめ(参考)

現状分析、対策立案など

② 土砂くずれ被害

訓練内容

① 通信	
避難所	「本部、本部こちらは()避難所の()です。
	感度いかがですか? どうぞ」
本 部	「() さん、こちらは () です。
	(感度の状況を伝える) どうぞ」
感度	その状況 ・感度良好です
	・少し雑音が入りますが、わかります。
	・雑音が多くて聞きづらいです。
	・ほとんど、了解できません。もう一度お願いします。
避難所	「() さん、それでは () 避難所から、本部へ
	3月2日、13時現在の 土砂くずれ発生の報告 がありますので、送っていいですか?
	どうぞ」
本 部	「送ってください。どうぞ」
避難所	「訓練、こちらは、()避難所の()です。
	 地震による 土砂くずれの発生 場所は、
	地図上の(、、、、、、、
	、、、、、、)」です。
	・地区ごとの被災箇所の図面から縦横の記号を伝達 例A-1、B-2・・・。
本 部	「了解しました。復唱します。
	訓練 土砂くずれの発生場所は、
	地図上の(、、、、、、、、、
	,,,,,
	これでいいですか?どうぞ」
避難所	「間違いありません。こちらは()避難所でした。おわり」
本 部	「() さん、了解しました。終わり」
	地図から全体図への転記
本部	担当は、各地区の受信情報を全体図に記入する

③ 状況のまとめ(参考)

現状分析、対策立案など

③ 緊急輸送道路(国道 247 号)の被害

訓練内容

① 通1	
避難所	「本部、本部こちらは()避難所の()です。
	感度いかがですか? どうぞ」
本 部	「() さん、こちらは () です。
	(感度の状況を伝える) どうぞ」
感	度の状況 ・感度良好です
	・少し雑音が入りますが、わかります。
	・雑音が多くて聞きづらいです。
	・ほとんど、了解できません。もう一度お願いします。
避難所	「() さん、それでは () 避難所から、本部へ
	3月2日、13時現在の 緊急輸送道路の被害 報告がありますので、送っていいですか?
	どうぞ」
本 部	「送ってください。どうぞ」
避難所	「訓練、こちらは、() 避難所の()です。
	地震による 緊急輸送道路の通行不能 場所は、
	地図上の(、、、、、、、、、
	、、、,、,、,)」です。
	・地区ごとの被災箇所の図面から縦横の記号を伝達 例A-1、B-2・・・。
本 部	「了解しました。復唱します。
	訓練 緊急輸送道路の通行不能 場所は、
	地図上の(、、、、、、、、、
	,,,,,)
	これでいいですか?どうぞ」
避難所	「間違いありません。こちらは()避難所でした。終わり」
本 部	「() さん、了解しました。終わり」
② 手元	亡地図から全体図への転記
本部	『担当は、各地区の受信情報を全体図に記入する

③ 状況のまとめ(参考)

現状分析、対策立案など

④ 救助活動拠点(候補地)の状況

訓練内容

^怎 本 部	「本部、本部こちらは(感度いかがですか? どうぞ」)避難別り(
本 部	&皮いかかじょかく とうそ」		
	Γ(\ \ > > > > > > > > > >	4 () ~ ; +	
	「() さん、こちらん (感度の状況を伝える) どう		0
咸麻の	の状況 ・感度良好です	7]	
念及り	・少し雑音が入りますが、わ	ふります	
	・雑音が多くて聞きづらいで		
	・ほとんど、了解できません		
避難所	「() さん、それで		所から 本部へ
	- 、	<u> </u>	
	どうぞし		
	「送ってください。どうぞ」		
避難所	「訓練、こちらは、()避難所の()です。
	救助活動拠点(<u>ー</u>) は
	・地区内の拠点の名称 例	○○グラウンド、○○野球	求場
	使用 () です。		
	・可能、不可能		
	()は
	使用 (<u> </u>		
本 部	「了解しました。復唱します。		
	訓練 救助活動拠点()は
	使用 ()		
	(`) は
	使用 ()		
	これでいいですか?どうぞ」		
避難所	「間違いありません。こちらは(_)避難所でし	した。終わり」
本 部	「() さん、了解し	ました。終わり」	

③ 状況のまとめ (参考)

現状分析、対策立案など

本部担当は、各地区の受信情報を全体図に記入する